

地域から考える気候変動問題

～伊勢志摩サミットに向けて～

近年、世界中で気候変動の影響が現れており、我が国においても、気温や海水温の上昇、降水日数の減少などに伴い、農作物の収量の変化や品質の低下、漁獲量の変化、動植物の分布域の変化やサンゴの白化、さくらの開花の早期化などがすでに生じています。

今後どのような温暖化対策を取ったとしても日本の将来の平均気温は上昇し、21世紀末に向けて気候変動の影響のリスクは高まると予測されており、温暖化が進むにつれて、自然災害、農業、自然生態系、健康など様々な面で深刻な影響が生じる恐れがあります。

そのような中、2015年11月には政府として初の「気候変動の影響への適応計画」を閣議決定し、同年12月には気候変動枠組条約の第21回締約国会議(COP21)において、2020年以降の国際枠組みであるパリ協定が採択されるなど、近年、気候変動問題を巡る国内外の情勢が大きく動き出しています。

本シンポジウムでは、伊勢志摩サミットを5月にひかえる三重県において、地球規模の課題である気候変動問題に関する最新の動向を紹介すると共に、これらの情報をいかに伝えていくか、そして今後どのような対策を進めていくべきかを皆さんと考えていきます。

日時: **2016年3月18日(金)** 13:00~16:00 (開場 12:30)

場所: **鳥羽国際ホテル ハーバーウィング6F バンケットルーム** あまぎ **海城**
(三重県鳥羽市鳥羽1-23-1 / アクセス: 近鉄鳥羽駅3番出口より無料送迎シャトルバスで約3分)

定員: **100名**(事前申込み制) 参加費: **無料**

主催: 環境省 共催: 三重県

第1部 基調講演

- 「気候変動問題の最新の動向について(仮)」(20分) / 藤井進太郎 (環境省地球環境局 研究調査室 室長補佐)
- 「三重県における異常気象の現状と今後(仮)」(30分) / 立花義裕 (三重大学 生物資源学研究所 教授)



北野大

第2部 トークセッション&パネルディスカッション

- 「地域から考える気候変動問題(仮)」

コーディネーター 立花義裕 (三重大学 生物資源学研究所 教授)

パネリスト 北野大 (淑徳大学 人文学部表現学科 教授)

多森成子 (三重テレビ ニュースウィズ キャスター / 気象予報士)

平石尹彦 (地球環境戦略研究機関参与 / 前IPCCインベントリータスクフォース共同議長)

辻製油株式会社 (三重県松阪市)

学校法人梅村学園 三重中学校・高等学校科学技術部代表生徒

藤井進太郎 (環境省地球環境局 研究調査室 室長補佐)



多森成子

講演者プロフィール

立花義裕 (たちばな・よしひろ)



三重大学・生物資源学部・共生環境学科教授。気象学・気候力学が専門。猛暑・寒波・暖冬、異常多雨、北極の海水の減少、そして地球温暖化。これら異常気象や異常な気候がなぜ起こるのか？等、地球の気候システムの長期変動の仕組みを理解し、予測精度向上に寄与する研究を行う。日本気象学会中部支部理事、三重県環境影響評価委員会委員等。

平石尹彦 (ひらいし・たかひこ)



東京大学工学部卒業。東京大学大学院修士課程修了。環境庁、ケニア大使館、経済協力開発機構(OECD)を経て、国連環境計画(UNEP)事務局にて環境アセスメント・情報局長等を歴任。1999年より2015年10月までIPCCに参画。IPCC国別温室効果ガスインベントリ・タスクフォース共同議長を務めるなど、日本人で唯一のビューロー委員として活躍した。

北野大 (きたの・まさる)



淑徳大学人文学部教授(工学博士)。専門は環境化学・安全学。(財)化学品検査協会(現:(財)化学物質評価研究機構)・企画管理部長等を経て、平成25年4月より現職。経済産業省・化学物質審議会委員、環境省・中央環境審議会委員を歴任。平成16年には(社)日本分析化学会・技術功績賞を受賞。タレント・ビートたけしさん(映画監督・北野武氏)の実兄。

多森成子 (たもり・せいこ)



三重テレビ気象キャスター、気象予報士。三重防災コーディネーター、三重県新エネルギービジョン推進会議委員。気象キャスターとして東海地区で活動して15年。現在は、『三重テレビNEWSウィズ』などに出演のほか、出前授業やイベントを通して、天気予報の裏話や、地球温暖化、防災などについて講演を行っている。

辻製油株式会社

食品素材に関わる多角的事業を進める総合メーカー。獨創性を重んじる企業風土のもと天然素材の可能性を探り、新しい価値を持った製品の研究開発と製造販売を行う。循環型社会の構築及び地球温暖化防止を目的としたバイオマス熱構想を進め、省エネと環境負荷低減に繋がる新たな農業モデルの合弁会社を設立、自社製油工場の排熱及び木質バイオマスボイラーの蒸気を利用した太陽光利用型植物工場を建設し、高品質ミニトマトの生産・販売に取り組んでいる。

学校法人梅村学園 三重中学校・高等学校 科学技術部

地元の方々と協力しながら、地元の松名瀬干潟にて生物相調査を毎月行い、その結果を日本貝類学会等の学内外で発表している。また、そこで得た知識と経験を活用して、子どもや大人を相手に干潟の観察会のプログラムを自ら作成し、講師を務めている。県内における環境活動を促進し、持続可能な社会の構築につなげていくことを目的とした「第3回みえ環境大賞」を受賞。

「地域から考える気候変動問題」(in三重)参加申込方法

申込・問合せ先

地球・人間環境フォーラム

TEL:03-5825-9735 / FAX:03-5825-9737 / Eメール:climate@gef.or.jp

申込締切

2016年3月14日(月) 必着

WEB申込フォームまたは、電話/FAX/電子メールにて受付

シンポジウムへのご参加には申込フォーム(推奨)から、またはE-mailか電話、FAXでの事前申込みが必要になります。

電話、FAX、Eメールでの参加申込

件名に「3/18三重シンポ参加申込」と明記の上、

- ①氏名(ふりがな)
 - ②E-mailアドレスまたはFAX番号
 - ③電話番号
 - ④ご職業(必須ではありません)
 - ⑤年代(10代/20代/30代/40代/50代/60代/70代/80才以上)
- をご記載の上、下記までお申込み下さい。

TEL:03-5825-9735

FAX:03-5825-9737

Eメール:climate@gef.or.jp

- 定員に達した場合のみ、ご連絡します。
- FAX申し込みの場合、FAXされた用紙をご持参下さい。
- Eメール送信の際は、開封確認通知をご利用下さい。
- 申込フォームの場合、自動返信メールをスマホ等でご持参下さい。
- ご記入いただきました個人情報は、今後、同種のご案内に限って活用させていただきます。

WEB申込フォームでの参加申込

「地球・人間環境フォーラム」

www.gef.or.jpの

お知らせ&イベントページ

よりお申込み下さい。

